

Ⅲ. 組織基盤の強化

(1) 効果的な広報・PR活動の実施

○機関紙「大商ニュース」の発行

本会議所の活動を広報するとともに、経営に役立つ情報を会員に提供するため、機関紙「大商ニュース」を20回発行した。「千客万来都市 OSAKA プラン」に関する事業や「シンポジウム『関西経済圏の針路』」を特集し、その成果を共有した。また、会員の事業利用を促進するため、事業利用会員の生の声を掲載する「使ってよかった！大商の事業」や「大阪検定にチャレンジ！合格体験記」を連載したほか、会員企業を紹介する「はじめまして！新入会員です」「会員情報プラザ」「ニュースレターから」「日本一明るい企業情報」を連載した。

○「千客万来都市 OSAKA プラン」に関するシンポジウムの開催

本会議所が推進する「千客万来都市 OSAKA プラン」の成果を共有し、今後の発展の可能性を多方面から議論するとともに、大阪・関西の存在感を強くアピールするため、全3回(10・11・2月)の連続シンポジウム「関西経済圏の針路」を(株)日本経済新聞社と共催した。

[成果・実績] 延べ371人が参加した。



11月、「関西経済圏の針路」を(株)日本経済新聞社と共催し、橋本雅至国際ビジネス委員長、桑山信雄本会議所中国ビジネス特別委員長らが「アジアビジネス」をテーマに討論。97人が参加した。

○Eメールを活用した広報(大商メールステーション)とホームページの充実

企業や個人の関心事項に応じて本会議所事業を効果的に案内するため、「大商メールステーション」を運営し、Eメールによる案内配信サービスを実施した。ホームページでは、貸会議室、検定試験のPRページをリニューアルし、本会議所事業のタイムリーな情報提供を行った。また、NHK連続テレビ小説「あさが来た」で五代友厚本会議所初代会頭が注目を集めたことから、2月にウェブページ「大阪の恩人五代友厚」を立ち上げた。

[成果・実績] 「大商メールステーション」の登録者数は1万7,354人、ホームページの年間総ページビューは882万118件になった(URL=http://www.osaka.cci.or.jp)。



2月、ウェブページ「大阪の恩人五代友厚」を立ち上げた。

○大阪活カグランプリの実施

大阪のチャレンジ精神、パイオニア精神の発信・高揚を目的に、大阪の産業・地域経済に貢献した法人・団体・個人を会頭名で表彰する「大阪活カグランプリ」を実施した。マスコミ各社からなる選考委員会、本会議所役員・議員から32件の推薦があり、その中から選考委員会で11件に絞り込んだ上で、投票を行い、12月にグランプリを選出した。

[成果・実績] グランプリに「インバウンド消費を盛り上げたミナミの商店街」を選出し、12月の会員交流大会で表彰した。



12月、大阪活カグランプリ2015に「インバウンド消費を盛り上げたミナミの商店街」を選出し、表彰した。

○定例見学会の開催

会員企業の経営者・経営幹部を対象に、企業・建設現場・物流施設の見学や、見学先代表者・経営幹部の講話を通じて、見聞を広げ研鑽と交流を深める場として定例見学会を開催した。

[成果・実績] ウィスキーの蒸溜所、高速道路の建設現場、物流施設の見学会を3回開催し、延べ87人が参加した。

○定例朝食懇談会の開催

本会議所役員・議員を中心に会員企業の経営者・経営幹部を対象にして、早朝の時間を活用して定例朝食懇談会を開催した。

[成果・実績]観光・インバウンド、経済情勢、伝統産業、科学技術等幅広い分野から講師を招聘、10回開催し、延べ942人が参加した。

(2) 3万会員の維持・向上

○会員増強運動の推進

6月に会員増強推進本部と会員増強推進特別委員会を新設し、7月に決定した安定的な3万会員体制を目標とする指針「会員増強運動の新たな展開」に沿って会員増強運動を展開した。具体的には、会員満足度の向上や事業利用促進のため、「新入会員の集い」や部会・支部による新入会員おもてなし活動を展開したほか、事業利用者の声を大商ニュースやホームページに掲載し、事業・サービスを広くPRした。また、会員増強力を向上するため、職員向けの会員増強研修を実施するとともに、7～12月に「体験しよう！人をつなぐ大阪商工会議所」をテーマに特別入会キャンペーン実施した。さらに、大阪府信用金庫協会の協力を得て、入会勧誘活動を展開した。

[成果・実績]新規加入件数1,562件に対して、退会件数が3,261件あり、本年度末の会員数は2万8,319件となった。新規加入件数の内訳は法人会員809件、団体会員35件、個人会員322件、特別会員396件。

○会頭の企業・現場訪問

佐藤茂雄本会議所会頭は、台湾(8月)、金沢(9月)、イタリア・ミラノ市(9月)、淀川水系(10月)等内外各地を精力的に訪問し、関係者と意見交換した。また、これまでの現場訪問の足跡や各地での講演、会合記録等を残すため、3月にホームページ「佐藤会頭の眼」の記念データ集を京阪電気鉄道㈱と共同で500部作成した。同コンテンツには、「千客万来都市大阪プラン(第2期)」の進捗状況を報告した7月の通常議員総会や、最後のメディア出演となった㈱毎日放送のラジオ番組(10月)、人材育成に関するインタビュー記事等を収録し、大阪企業家ミュージアムで閲覧できるよう設置した。

[成果・実績]会員企業や水都関連イベント等34か所を訪問。累計件数は297件になった。



3月、ホームページ「佐藤会頭の眼」の記念データ集を作成した。

○会員訪問活動の実施

事業利用の促進によるリテンションを強化するため、目標件数を前年度の2倍の4,000件に引き上げ、主に入会歴の浅い会員や事業利用のない会員を対象に会員訪問活動を実施した。併せて、会員満足度調査を実施するとともに、経営課題を聞きとり、経営相談ニーズの発掘に努めた。

[成果・実績]事務局職員の会員訪問件数は4,218件。平成15年度から実施している会員訪問活動による訪問累計件数は、延べ55,084件に達した。また、会員の平均満足度は5段階で3.77となった。

(3) 会頭の交代

○佐藤茂雄・前会頭の逝去

11月20日の佐藤茂雄本会議所会頭の逝去に際し、11月25日～12月1日までの平日5日間に985人の弔意記帳を受け付けた。また、2月にリーガロイヤルホテル大阪で京阪電気鉄道㈱とお別れの会を共催し、約2,500人が参会した。

○尾崎裕・新会頭の誕生

佐藤茂雄本会議所会頭が急逝したことを受け、12月18日に臨時議員総会を開催し、満場一致で尾崎裕本会議所副会頭が新会頭に選任された。尾崎新会頭は、挨拶の中で、『千客万来都市OSAKAプラン』をしっかりと引き継ぐ」との方針を示した上で、チャンスと好奇心に溢れ、アジアを中心に世界と繋がる都市を目指すとともに、ワクワク感、期待感があり、頼りになる商工会議所にしていきたいと抱負を述べた。



12月、臨時議員総会を開催し、満場一致で尾崎裕本会議所副会頭が新会頭に選任された。就任挨拶の中で、チャンスと好奇心に溢れ、アジアを中心に世界と繋がる都市を目指すとともに、頼りになる商工会議所にしていきたいと抱負を述べた。